

幼児教育における特別支援グループ研究会

グループ員：	山本 貴子 (南幼稚園)	渡邊 由紀 (伊丹幼稚園)
	新村 幸子 (稲野幼稚園)	濱地 磨未 (緑幼稚園)
	郷原 里枝 (桜台幼稚園)	安部 理香 (天神川幼稚園)
	吉村 宏美 (みずほ幼稚園)	笠井 裕子 (ささはら幼稚園)
	貴島 香 (ありおか幼稚園)	中野 真由美 (はなさと幼稚園)
	神野 正子 (こやのさと幼稚園)	山本 容子 (せつよう幼稚園)
	嶋田 幹子 (すずはら幼稚園)	花森 恵子 (おぎの幼稚園)
	野田 アズサ (いけじり幼稚園)	高島 沙織 (こうのいけ幼稚園)
		担当指導主事：時村 孝完

キーワード：特別支援教育 幼児教育 幼児理解 教材研究 情報共有

1 研究テーマ

「支援を要する幼児への指導・支援について」

2 研究内容

グループ員が互いに意見を出し合い、学び合えるように経験年数とブロックを考慮して小グループを編成し、昨年度の成果と課題から、今年度は、教員の子供理解の視点と具体的な支援方法について学んだ。

(1) 事例研究

「子どもの困り感や集団参加の仕方」「保護者への対応」等の効果的な手立てについて事例を出し合い検討した。子どもの姿から、子どもの困り感を探りそこから見える支援の仕方について話し合いを

した後、全体の場で意見交換をした。子どもの行動を読み取り、実践した内容で交換していくことで子どもが楽しみながら自分で物事に取り組めるように、一人一人の発達の段階や特性に応じた支援を考えた。実践を出し合い、それを基に意見を出し合うことで新たな視点や支援の方法を学ぶことができた。

(2) 就学や発達検査について

就学について保護者と共に考えていけるように、就学先決定に至るまでの流れについて時村指導主事の講義を受けた。その中で小学校の支援学級や通常級の授業の様子、また発達検査の必要性や受け方について学ぶことができた。

(3) その他

記録の取り方や学級担任との連携の仕方、対象児と友達とかかわることができるような支援の実践について情報交換をし、各自の学びへつなげていくようにした。

3 成果と課題

(1) 成果

- ① 視点を当てた実践を出し合い、それを基に意見を出し合ったことで、新たな気づきがあったり支援の方法を学んだりすることができた。
- ② 小学校就学に向けての学びを受け、保護者の悩みを情報交換し保護者支援に活かすことができた。

(2) 課題

専門性を求められる分野であるために、支援方法や教材活用等において知識を高めていく必要がある。そのために、外部の講師を招聘、文献の活用等研究の方法を工夫する必要がある。